

事業名：農泊の推進・レベルアップ事業（継続）

担当課：農山漁村づくり課

1 事業の目的

農林漁業の担い手確保が厳しい中山間地域において、農泊の持つストレス軽減や幸福度向上などの癒し効果を活用し、企業や大学等に福利厚生や研修、校外学習の場としての利用を図ることで、中山間地域での継続的な農林漁業の労働力確保に繋がります。

2 事業の必要性

農泊における新たな需要が獲得されるとともに、平日の利用拡大や、長期滞在が図られ、地域における所得拡大や雇用確保につながります。

農林漁業の担い手の確保が厳しい中山間地域において、企業や学生など都市部の外部人材を継続的に労働力として確保できる仕組みが構築されます。

農作業体験によるストレス軽減等の数値化された効果が大学の研究により報告されており、他県で実施された企業向けモニターツアーにも企業担当者が注目しています。また、今後、コロナ禍で自粛していた社外研修を再開する企業が増加すると見込まれ、人材育成の場としての農泊の需要は高まるものと考えられます。

3 事業の内容

(1) リフレッシュプログラムモニターツアー 6,000千円(3,000千円)

農泊の持つ心の癒し効果を活用し、企業等に研修の効果を実感してもらうため、モデル地域において体験プログラムを試行するモニターツアーを実施します。

(2) 農山漁村に人を呼び込む情報発信 1,430千円(715千円)

周囲への影響力が高いマイクロインフルエンサーに農泊プログラムを体験していただき、旅行者が訪れた先の地域ならではの食や体験などが楽しめる情報を発信することで、効果的なプロモーション活動を行い、集客力向上につなげます。

(3) インバウンド誘客対策 800千円(0千円)

インバウンド向けモニターツアーを実施し、美しい農村風景や農村の伝統的な食文化・農林漁業体験など農村地域の魅力に触れていただき、農泊の魅力を母国語でのSNSにより海外へ発信することで、海外からの誘客につなげます。

4 事業の内容

令和5年4月～令和8年3月

5 事業費

事業費 8,230千円（国費：4,515千円、県費：3,715千円）